

◎ 真心ある政治「こころのよりどころ通信」

大野市議会議員 林よりかず活動報告



大野市議会議員の林順和です。政治は常に国民、市民のものでなければなりません。私は日ごろから現場を大切に、話を聞いて「誇れるまち・大野」実現のため、市民・事業者と行政との橋渡しを心掛けています。

本年2月の大野市議会議員選挙を経て、引き続き、その重責を担わせていただくことになりました。限られた資源(人、モノ、カネ)を重要課題に投資する明確な方向性と、スピード感を持った信頼ある組織運営を求めて、責任世代として行動してまいります。

引き続きのご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

林 順和 Hayashi Yorikazu 昭和52年(1977)生まれ 45歳

中央大学卒、元市職員、現在大野市議会議員2期目

1784票の信託に応える(2月の市議選を終えて決意新たに)



令和5年2月12日執行の大野市議会議員一般選挙におきまして、1784票の信託をいただきました。選挙を通じていただいた大野市に対する不安、期待の声をしっかり受け取り、市政に反映できるよう政策提言してまいります。



市議選2023結果概要 (定数16人)

- ▶ 立候補者数 18人
- ▶ 当日有権者数 26,391人
- ▶ 投票者数 15,440人
- ▶ 投票率 58.5%
- ▶ 得票数(林よりかず) 1,784票



<https://hayashi-yorikazu.jp/>

選挙期間中の様子(動画)は、右記のQRコードを読み取ると、簡単にアクセスすることができます。



議会外の活動報告…大野市民の「自信と誇り」を取り戻す

【WBC世界一、中村悠平選手への感謝をカタチに】

中村悠平大野後援会と私が会長を務める大野市軟式野球連盟では、ワールドベースボールクラシック(WBC)世界一に貢献した大野市出身のプロ野球選手・中村悠平選手への感謝の気持ちをカタチにしようと、市内学童野球チームの子どもたちがメッセージを書いた幕を展示しています。ショッピングモールヴィオ、道の駅越前おおの荒島の郷、道の駅九頭竜です。ぜひ、ご覧ください。
※令和5年4月、中村選手が大野市民栄誉賞第一号に選出されました。



【ウイズコロナ、障害者団体の活動も徐々に再開へ】

大野市身体障害者肢体協会や障害者団体で構成する大野市身体障害者連合会にも関わらせていただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で長く活動ができずにいました。ようやく活動が再開されることになり、6月3日(土曜日)には結とぴあを会場に、大野市社会福祉協議会主催の福祉ふれあいまつりが開かれます。ぜひ、お越しください。

【カドハラ桜坂、IC開通に合わせて開花へ】

福井県唯一の日本百名山・荒島岳(標高1523.5メートル)の勝原登山口に荒島愛山会が植樹した1000本の桜。中部縦貫自動車道勝原ICが開通しましたが、桜も見事に開花して開通を祝っているようでした。本年度で創立20周年を迎える同会の活動に参加させていただきながら、さらに大野の魅力、価値を高めていきたいと思っております。ぜひ、訪れてみてください。
※中部縦貫自動車道 勝原ICから車で1分。



※議長を補佐する立場から、本会議における一般質問は原則、行いません。

令和5年2月の臨時議会、議員による選挙において第58代大野市議会副議長に選出いただきました。市長をトップとする行政とともに「車の両輪」といわれる議会。市民の負託にこたえるため、議長を補佐して円滑な議会運営に努めるとともに議会が丸となって議会改革に取り組みながら、福井県の東の玄関口として大野市発展に尽力いたします。

編集後記

発行元 林よりかず後援会事務所 【電話・FAX】0779-65-0276 大野市春日二丁目5-13



一般会計予算・過去最大190億円超、重点施策は…

【令和5年2月臨時会、令和5年3月定例会から】

令和5年2月21日に選挙後初となる第432回臨時会が開かれ、正副議長の選挙や常任委員会等委員の選任が、2月27日から3月24日にかけては第433回定例会が開かれ、令和5年度当初予算議案などを審議しました。

一般会計予算は過去最大規模となる190億5000万円。財源見通しや重点施策への投資など、政策課題解決に向けてスピード感持った行政運営を求めています。

再編後の教育環境向上は…校舎改修、スクールバス、部活動等

【主な予算措置】

3校の改修経費(R5-7 継続費総額 31億3194万5千円、うちR5は14億6626万9千円)
2校のスクールバス運行委託(R6-10 債務負担行為限度額 3億8272万3千円)
部活動の地域移行推進(585万3千円)／小中学校の再編計画推進(8978万4千円)

中学校は令和6年度に2校(開成中、陽明中)に再編となり、先行再編した下庄小を含めた校舎の改修が始まります。閉校する3校(尚徳中、上庄中、和泉中)の校区を運行するスクールバス購入費や運転手確保など運行事業者と準備を進めるための債務負担を可決しました。

休日における部活動を地域団体に移行する方針とともに、令和5年度から部活動の加入を「任意」とする方針が通知されるなど、部活動を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。県中体連の大会が平日開催と発表され、生徒や保護者に不安の声が上がっています。

林の視点

児童生徒の教育環境を整える学校改修は必要です。工期が長期にわたることから、授業への影響など、現場が混乱しないよう配慮を求めています。

スクールバスは、学校生活や部活動の実態に合わせたきめ細かな運行を求めるとともに、市全体の公共交通体系を見直す方針であることから、児童生徒以外の利用検討を求めています。

部活動は中学生生活の大事な要素であり、生徒を第一に考えた制度のあり方を求めています。

高速交通を活かした「稼ぐ力」とは…星空、平成大野屋等

【主な予算措置】

日本一の星空発信(1945万2千円)／観光を軸に稼ぐ新組織設立(235万4千円)
観光パンフレット更新等(1810万1千円)／屋内型こどもの遊び場実施設計(851万円)
六呂師にあるうらら館への木質バイオマスボイラ導入(1億4657万円)

林の視点

市内事業者にとって星空による誘客はチャンスとなっているのか、結ステーションを中心としたまちなか観光は新組織体制が見えず、遊び場設置による駐車場不足も懸念されています。中心市街地の活性化は喫緊の課題。関係者の合意を得て実施しているのかチェックします。

中部縦貫自動車道の延伸を最大のチャンスとする中、星空を活かした誘客や第三セクター(株)平成大野屋に代わる新組織設立によるまちなか観光の推進、まちなか交流センターへの屋内型こどもの遊び場設置などを進めることで、「稼ぐ力」を向上させるとしています。



環状交差点が設置されている荒島IC

大野に住み続けるには…市民の健康づくり、定住促進等

【主な予算措置】

ヘルスウオーキングプログラム 2470名分など健康づくり応援(5409万5千円)
移住促進の支援など(1514万4千円)／地域おこし協力隊6名分(2892万1千円)
若者の結婚支援など(840万円)／出産・育児スタート応援(4236万8千円)

ヘルスウオーキングプログラムとして、歩くことに重点を置いた市民の健康づくりの取り組みを令和2年度から進めています。

自営業などが加入する大野市国民健康保険は保険料だけで運営できていません。令和5年度は約5000万円を税金で補填しており、税率改定の作業を行うとしています。

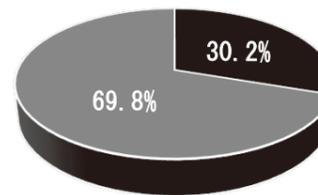
福井県が発表した令和4年10月1日現在の市の推計人口が3万人を割り込んだ(2万9997人)中、定住に向けた補助制度の一部を拡充しています。

林の視点

歩くことで市民の健康づくりを進めていますが、多額の経費がかかっており、医療費の削減など効果の見える化を求めています。

人口減少対策を本市最大の課題と位置付けている中、これまで同様の取り組みでは効果がありません。Uターン定住の重点化、移住者をやさしく受け入れる地域づくりなど、大野市独自の施策を強く求めています。

財政運営は健全か…市税や市債(借入)、繰入金(貯金取り崩し)等



令和5年度一般会計当初予算額190億5000万円のうち、自主財源の割合は30.2%(57億5962万2千円)、依存財源は69.8%(132億9043万8千円)であり、その内訳は次のとおりです。

【自主財源 30.2%】

市税 20.1%(約38億円)
使用料及び手数料 1.0%
繰入金 6.1%(約12億円)
諸収入その他3.0%

【依存財源 69.8%】

地方交付税 31.8%(約61億円)
国庫支出金 14.9%
県支出金 9.1%
市債 7.9%(約15億円)
譲与税・交付金 6.1%

林の視点

個人、法人が納める「市税」は行政運営の根幹であり、税収が増えるよう投資効果を求めています。「繰入金」は積み立ててきた基金(貯金)の取り崩しであり、特に財源不足を補う財政調整基金の取り崩し(6.5億円)を予定していることから、公共施設の再編・統合など徹底した行政改革の必要性を訴えています。

「地方交付税」はこれ以上の増額は期待できません。返済元金(約13億円)を超える「市債」は将来世代にツケを回すことから、無駄な予算執行がないかチェックしていきます。

基金(貯金)の残高(一般会計)

令和4年度末 69億796万円
令和5年度末 60億2463万円(見込)

市債(借金)の残高(一般会計)

令和4年度末 120億3200万円
令和5年度末 124億9080万円(見込)

あれ、どうなった?



○文化会館の今後は

現在の文化会館について市は、令和4年3月に「令和8年6月までに休館を検討する」方針を示しましたが、その後、具体的な提案がありませんでした。

令和4年12月議会では大野市文化協会からの陳情を議会として「採択」。しかしながら、令和5年度当初予算に予算計上できなかったことから、文化会館の機能や避難所指定をどうするのか、早急な検討を求めました。

利用される方はホールと練習室機能を、周辺住民の方は、避難所をどこにするのか求めています。

現在の施設は耐震性が確保できません。今後、民間施設における機能充足や避難所の代替施設での確保など議論を進めていきます。

【現在の文化会館概要】

- ・所在地: 大野市有明町
- ・建設年: 昭和40年 (昭和41年6月開館)
- ・敷地: 5,981㎡(市有地)
- ・構造: RC造(鉄筋コンクリート)一部SRC造3階建
- ・延べ床面積: 3,161㎡
- ・大ホール客席数: 633席
- ・駐車台数: 97台